

都城市議会議長 様

提出日 令和6年6月13日

視 察 報 告 書

以下のとおり視察の報告をいたします。

1 会派名及び視察者名

【自由民主党有志会】成合円美佳、小玉忠宏、徳留八郎

2 視察先および対応者

【視察先】都城市が管轄する児童館および児童センター13館

安久児童館、梅北児童館、都原児童センター、鷹尾児童館、高木児童館、
太郎坊児童館、高城児童館、石山児童館、桜木児童館、下水流児童館、
山田中央児童館、山田谷頭児童館、神柱児童センター

【対応者】子ども課 職員2名 各指定管理者および市職員（直営）

3 視察日時

令和6年5月14日（火） 10:00～17:00

4 視察の内容

児童館は0歳から18歳までの子どもが自由に来館できる施設である。児童クラブが児童館の一室に併設されるようになってから、放課後は小学生の利用が多く見られる。「都城市は子育てしやすいまち、子どもは宝だとうたっているが、その子どもたちが過ごす児童館の環境がひどいことになっているので、一度議員の目で見てほしい」という声が市民から届いた。また、これまで児童館のことを議会でとり上げた議員がほとんどいないという指摘を受け、いくつかの児童館の情報だけでは分からないと判断し、会派として、すべての児童館の環境について視察を行うこととした。

事前に市民から聞いていた情報として、簡易洋式トイレの問題、エアコンがないこと、熱中症の問題、ランドセルで児童館に来てほしいようにしてほしいこと、授乳室がないこと、不登校の子どもも来ていることなどがあった。

4 視察の感想

トイレの便座が和式から簡易洋式トイレに変えた児童館のなかで、2 か所スペースが狭すぎてドアが閉まらないなどの問題があった。ほかにも、使うたびに側面をペットボトルに入れた水を流さなければ清掃ができず、使い勝手の悪さがあった。

次に、男女共同トイレが7か所あったので、0歳から18歳までが利用できる施設として適切ではないと感じた。遊戯室にエアコンはほとんどついていなかった。図書室や事務室にエアコンがついている児童館もあったが、指定管理者で寄付を募り、自分たちで付けたことを聞いた。市に要望をしても、予算がないとか、順番があるとかで、もうずっと待っている状態であることがわかった。自分たちでエアコンを付けた児童館の中で、指定管理者が変わり、取り外されたので、取り外したあとが残っている様子が空しかった。

ランドセル来館については、児童館によって考え方が様々であったが、地域によって児童館と家との距離がすごく遠いところもあるので、そういう場合は許可する方法がとられてもよいのではという意見があった。また、児童クラブの子はランドセルで来ていいのに、児童館に来る子はダメという決まりが納得いかないのか、ランドセルをどこかに隠してやってくる子もいるという話を聞いた。

授乳室については、施設が古い分、新たな部屋を設けることは難しいだろうと感じた。現状では、車に戻っておむつ替えや授乳をしてもらっているという児童館があり、パーティションを市で準備できないかという意見があった。なかには、そもそも乳児は来ないから困っていないという声もあった。

それ以外にも、指定管理料が他市と比べて安すぎるので上げてほしいこと、児童館の周知をもっとしてほしいこと、おそらく耐震化基準が旧基準なので、地震の時に怖いということ、雨漏りがあること、外壁が剥がれ落ち、釘がはみ出していること、側溝のふたが壊れているなどの数々の問題があった。

5 視察の成果及び市政への反映等

市民からいただいた声を基に、実際に見に行くことで、それを裏付ける根拠が揃う視察になった。これを受けて、自由民主党有志会では、問題点を共有し、その改善が執行部によって図られるよう、児童館の施設環境についてと、児童館のルールや周知について、会派代表質問の形で一般質問を行うこととした。

6 添付資料



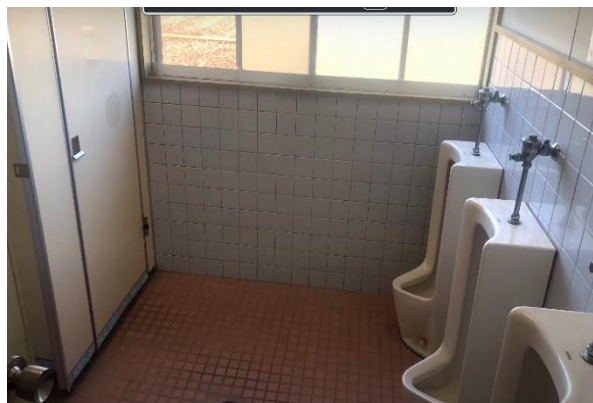
梅北児童館（簡易洋式トイレ）



下水流児童館（簡易洋式トイレ）



雨漏り（山田谷頭児童館）



男女共用トイレ（安久児童館）